

どっして



を  
数えるの？

Yumi of さく



sample



彼女はルナちゃん、自分の想像力でちょっとしたぎもんを元に物語を作ることが大好きです。

今夜は寝る前にこんなぎもんが浮かびます。

「どうして、寝る前に羊さんを数えるんだろう？ 羊さんたちも自分たちを数えてるのかな？」



「そうか、分かったかも！」こうして、ルナちゃんはこの物語を思いつきます。  
「ある羊村に、メリーちゃんとパパ羊とママ羊の仲良し家族が幸せに暮らしていました。  
この羊村でもきっとみんな毎日、忙しく過ごしてるんだろうなー」ルナちゃんの想像は  
どんどん大きくなって行くのです。  
メリーちゃんのお家では、今夜の夕飯作りとその後片付けの当番はママ羊、  
そしてメリーちゃんの寝かし付けの当番はパパ羊です。  
「さあ、メリーちゃんそろそろお休みの時間だね」パパ羊がやさしくベッドにさそうと、  
メリーちゃんはニコニコしながら、「わたし、まだ眠くない！」と、絵本を差し出し  
おねだり。  
おだやかなパパ羊は「もちろん」と答え、親子はお部屋に向かいました。





メリーちゃんはルナちゃんと同じで、パパの絵本の読み聞かせが大好きです。とってもやさしいパパ羊は4冊目の絵本でのどはカラカラ、読み終わる前に、「メリーちゃん、この絵本を読み終わったら羊さんを数えて寝ようね。」と言い、絵本の最後のページを読み終えます。「ドラゴンと子羊ペーターは良いお友達になり、王国を守りました。お終い。」





ためしよみ

は

ここまでです